

第2部 活用しよう(資料編)

1 環境の基本データを読み取ろう

福井県では、大気や水質等の環境監視や動植物などの実態調査を継続的に実施しています。その中から、主だったデータを紹介します。

1)大気の現状

大気汚染を防止するため、二酸化いおうなど5物質について、全国一律の環境基準(人の健康を保護し、生活環境を保全する上で望ましい基準)が定められています。

県では、この5物質について、一般環境の代表地点や自動車交通量の多い道路沿いに自動観測装置を設置して、環境科学センターの中の中央監視局からテレメータシステム(無線等による遠隔システム)を使って毎時のデータを監視しています。

また、自動観測装置のない地点については、大気環境測定車「みどり号」を配備して観測しています。

福井県の現状濃度を見ると、二酸化いおう、二酸化窒素、一酸化炭素については、100%環境基準を達成していますが、浮遊粒子状物質については、風による土壌の舞い上がりや稲わらの野焼きなどにより、一時的に基準を超えて高くなることがあります。

また、光化学オキシダントについては、県内では注意報の発令はほとんどありませんが、自然界のオゾンの影響等もあって、春から夏にかけて一時的に環境基準を超えることがあります。

【大気汚染に係る環境基準と福井県の現状濃度】

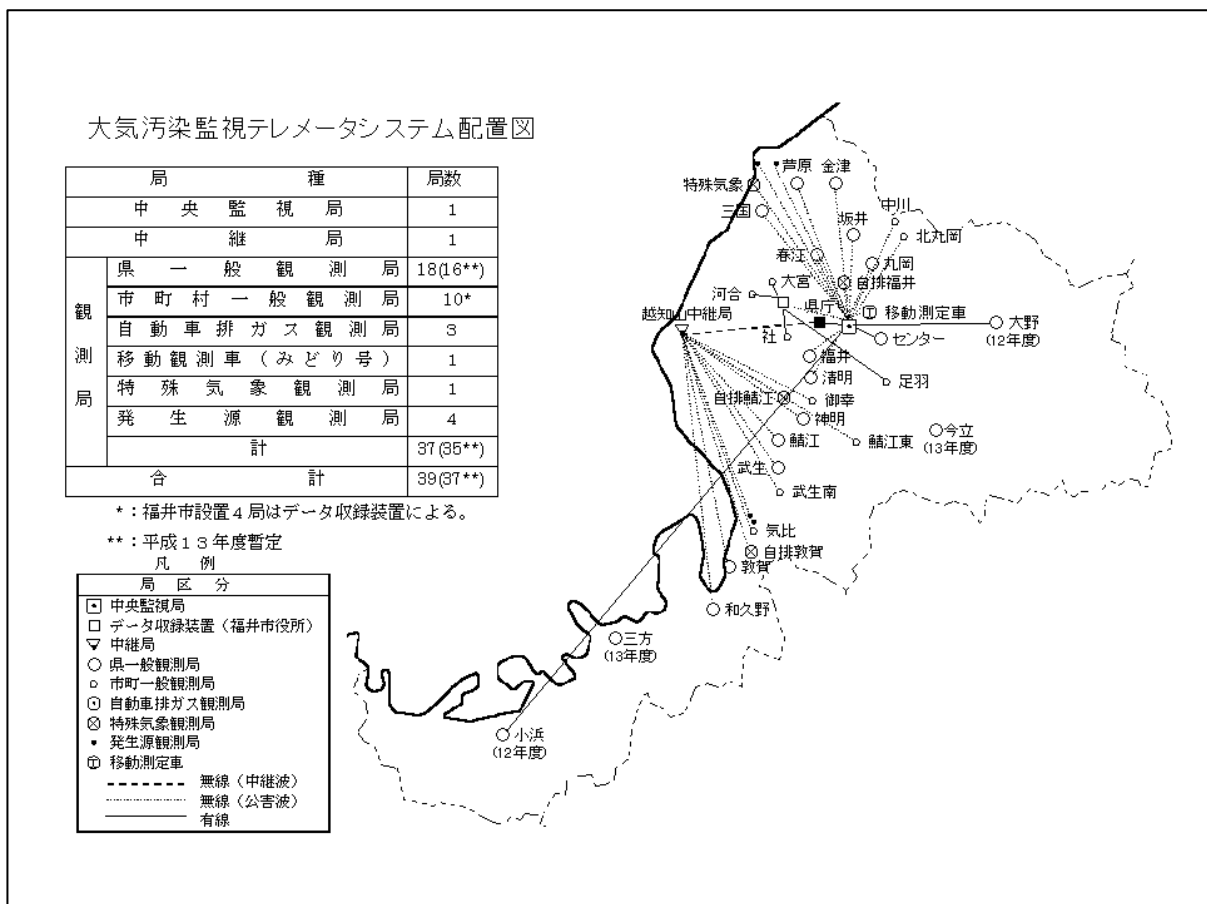
物質	環境基準	各観測局の年平均値 (平成10年度データ)
二酸化いおう	1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、1時間値が0.1ppm以下であること。	0.002～0.006ppm(一般)
二酸化窒素	1時間値の1日の平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内、またはそれ以下であること。	0.005～0.017ppm(一般) 0.018～0.025ppm(沿道)
浮遊粒子状物質	1時間値の1日平均値が0.10mg/?以下であり、かつ、1時間値が0.20mg/?以下であること。	0.018～0.030mg/? (一般)
一酸化炭素	1時間値の1日平均値が10ppm以下であり、かつ、1時間の8時間平均値が20ppm以下であること。	0.5～0.5ppm(一般) 0.7～1.0ppm(沿道)
光化学オキシダント	1時間値が0.06ppm以下であること。	0.022～0.033ppm(一般) 0.016～0.017ppm(沿道)

ppm：濃度を示す単位で1ppmは百万分の一を表す

(物質の説明)

二酸化いおう	燃料中の硫黄分が酸化されて生成する。ボイラーなどから排出される。無色刺激臭のある気体で、粘膜炎特に気道に対する刺激が強い。
二酸化窒素	燃料中の窒素や空気中の窒素が酸化されて生成する。ボイラーや自動車などから排出される。赤褐色で、刺激性のある。
浮遊粒子状物質	浮遊粉じんのうち、10 ミクロン以下の粒子状物質。ボイラーや自動車などから排出される。気道や肺に沈着して、人体に悪影響を与える。
一酸化炭素	炭素化合物の不完全燃焼によって生成する。自動車などから排出される。ひとの血液中のヘモグロビンと結びついて、体内への酸素供給を阻害し、ひどいときには窒息にいたる。
光化学オキシダント	大気中の窒素酸化物や炭化水素などが、強い紫外線を受け、光化学反応を起こして生成する。目のチカチカやのどの痛みなどを引き起こす。

【大気汚染監視テレメータシステム】



【問合せ先】福井県福祉環境部環境政策課
0776-20-0301

2)水質の現状

川・湖・海の水質を保全するため、水域ごとに利水状況を考慮して、有機物による汚濁の程度を示すBOD（生物化学的酸素要求量）やCOD（化学的酸素要求量）などの環境基準が定められています。

また、カドミウムなどの有害物質についても、全国一律の環境基準が定められています。

県では、水質の汚濁状況を監視するため、河川 56 地点、湖沼 19 地点、海域 36 地点で年間 4 ～ 12 回の水質調査を実施しています。

公共用水域の水質をBODまたはCODで見ると、海域については100%環境基準を達成していますが、一部の都市河川や北潟湖・三方五湖では環境基準を超えています。

【BOD（COD）の環境基準と達成状況】

水 域 名		調査地点	BOD（COD）の環境基準	左記環境基準の達成状況
河川	九頭竜川（日野川、足羽川含む）	17	2または3mg/リットル	100%
	九頭竜川支派川	12	2～8mg/リットル	92%
	九頭竜川支派川（環境基準なし）	12	-	
	笙の川・井ノ口川	5	2～5mg/リットル	40%
	耳川	2	2または3mg/リットル	100%
	北川・南川	8	2mg/リットル	100%
湖沼	北潟湖	9	5mg/リットル	25%
	三方五湖	19	3または5mg/リットル	78%
海域	九頭竜川地先海域	6	2または3mg/リットル	100%
	越前加賀海岸地先海域	9	2mg/リットル	100%
	敦賀湾	7	2または3mg/リットル	100%
	若狭湾東部海域	5	2mg/リットル	100%
	世久見湾、矢代湾、小浜湾、内浦湾	9	2mg/リットル	100%
合計		111		89%

（備考）

- 1 河川についてはBODで、湖沼・海域についてはCODで、水域ごとに環境基準が設定されている。
- 2 環境基準の達成状況は、平成9年度における基準達成地点数/調査地点数

【主な水質調査項目】

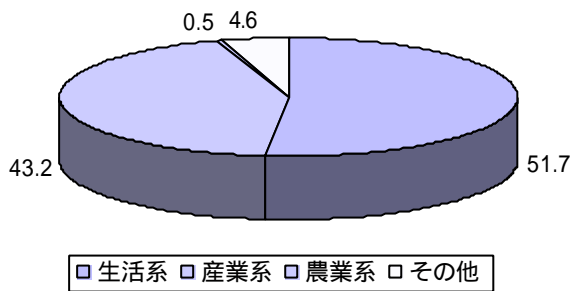
調 査 項 目	
生活環境項目	pH、BOD、COD、SS、油分、窒素、燐
健康項目	カドミウム、シアン、鉛、六価クロム、砒素、水銀、PCB、セレン、ベンゼン、トリクロロエチレン等の有機塩素化合物、シマジン等の農薬
特殊項目	フェノール類、銅、亜鉛、鉄、マンガン、クロム、塩素イオンなど
要監視項目	クロロホルム、トルエン、ホウ素、アンチモンなど

【生活排水による河川の汚濁】

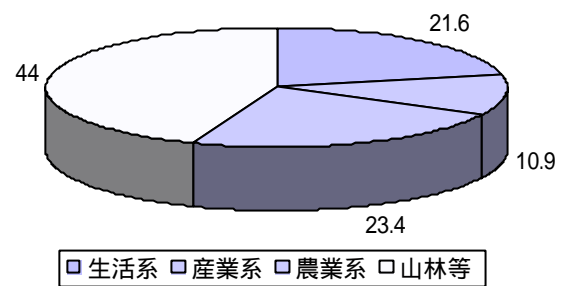
公共用水域の水質汚濁の発生源は、工場・事業場や畜産などの産業系、水田・畑などの農業系、浄化槽・家庭の台所・風呂・洗濯排水などの生活系に分類されます。

生活雑排水による汚濁負荷は、生活水準の向上に伴い増加し、都市河川等を中心に河川汚濁の大きな要因になっています。

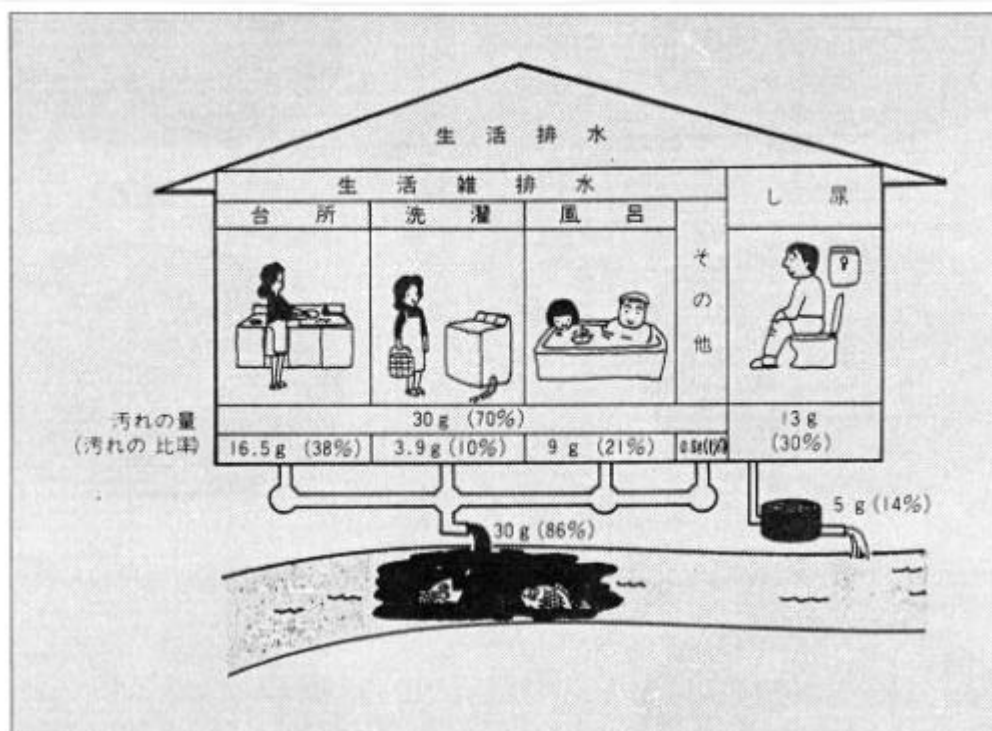
狐川の発生源ごとのBOD負荷割合



三方五湖の発生源ごとのCOD負荷割合

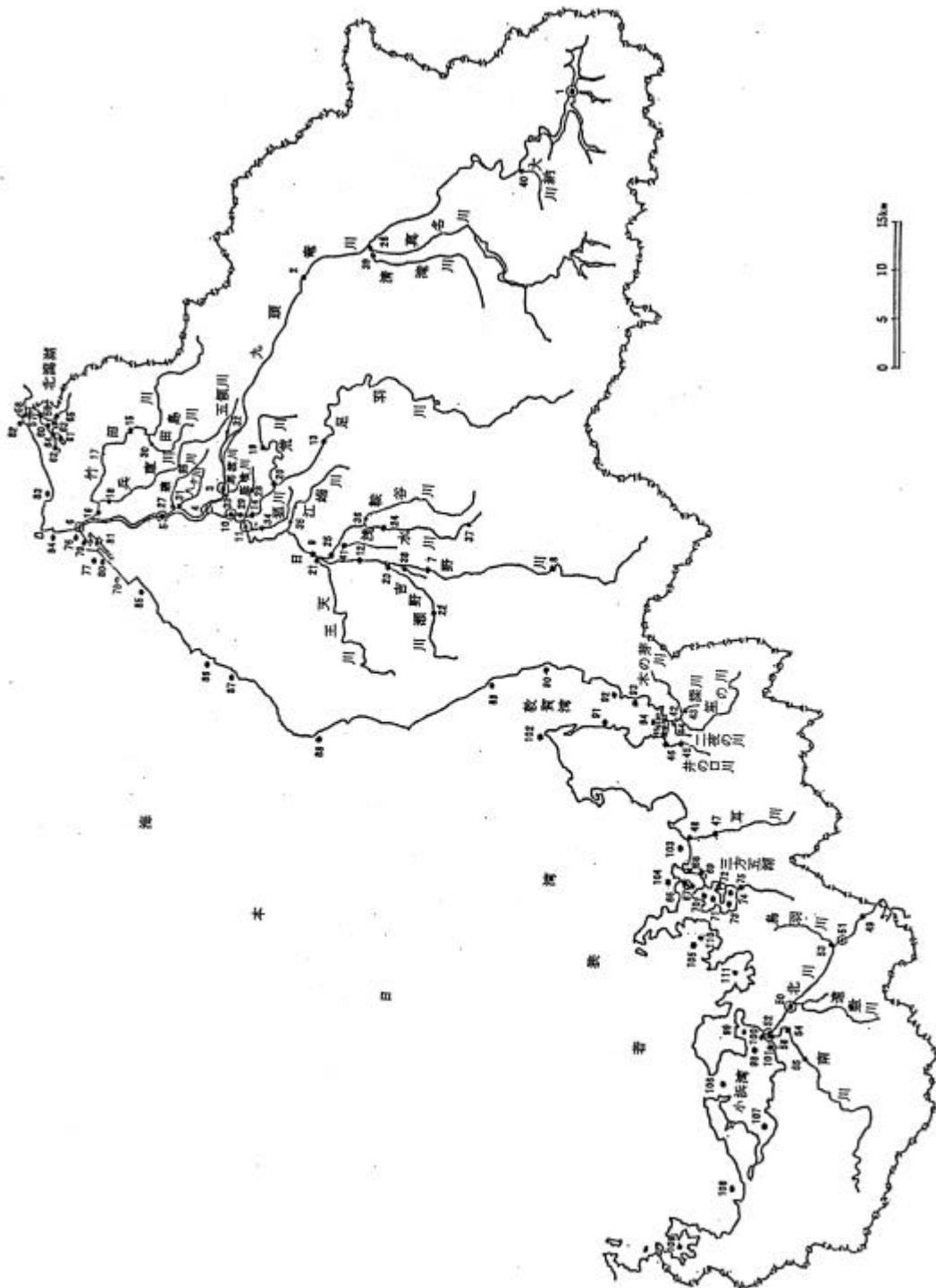


【一人一日当たりの生活排水の負荷量】



【問合せ先】 福井県福祉環境部環境政策課
0776-20-0301 【問合せ先】

【水質測定地点の位置】



【問合せ先】福井県福祉環境部環境政策課
0776-20-0301

3)酸性雨の現状

化石燃料等の燃焼に伴い発生する硫酸化物や窒素酸化物が雨に取りこまれ、強い酸性を示す雨を酸性雨といい、通常pH5.6以下のものを指します。

ヨーロッパや北アメリカ、中国ではpH4程度の酸性の強い雨が観測されており、森林の衰退、湖沼における魚の死滅、遺跡や建築物の侵食などの被害が出ています。

県では、県内3箇所で継続的に調査を実施しており、また、国が全国29箇所に設置した酸性雨観測所の1つが越前町に設置されています。

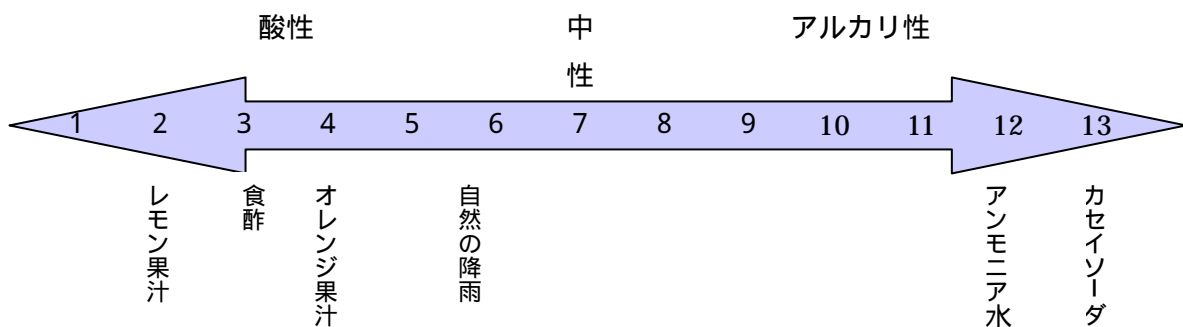
県内の酸性雨のpHは、年平均値4.5~4.8で、全国値と同レベルにあります。

【酸性雨の調査地点と調査結果】

調査地点	期間	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	採取法
環境科学センター	通年	4.5	4.6	4.5	4.6	4.7	ろ過式
勝山市北谷町	通年	4.8	4.7	4.7	4.8	4.8	ろ過式
敦賀市新和町	通年	4.6	4.6	4.6	4.6	4.6	ろ過式
国設越前岬	通年	-	4.5	4.5	4.6	4.6	Wet

(備考)

- ろ過式 : 1週間の採取期間中、採取器を開放しておき、降雨をろ過して採取する。
採取法 降雨がなくても採取器は開放されているため、乾性沈着物も採取され、カルシウムイオンやアンモニウムイオン等の影響を受け、Wet only採取法に比べ若干高くなる傾向がある。
- Wet only : 降雨時にのみ採取器が開放し、雨水を採取する。採取期間は1週間
採取法



【問合せ先】福井県福祉環境部環境政策課
0776-20-0301

4)自然環境の保全

(自然公園)

福井県の自然公園は、白山山系の山岳公園である**白山国立公園**、嶺北の隆起海岸である**越前加賀海岸国定公園**、嶺南のリアス式海岸である**若狭湾国定公園**、**奥越高原県立自然公園**の4つがあり、その合計面積は61,432haで県土面積の14.7%を占めています。

優れた天然林が相当部分を占める森林、一定の広がりを持った海岸、湖沼、湿原などで、その区域内に生存する動植物を含む自然環境が優れた状態を維持しているところのうち、現在、**敦賀市池河内**と**池田町檜俣**の二カ所が指定されています。

【福井県の自然公園と自然環境保全地域】



【県自然環境保全地域の指定状況】

名称	所在地	面積 (ha)	保全対象	保全対象の具体的内容
池河内	敦賀市池河内	111.00	湿原植物の自生地・野生動物の生息地	高層湿原性イヌノハナヒゲ - ハリミズゴケ群落 ヤナギトラノオ (南限種) ヤチスギラン (西限種) ハッチョウトンボ
檜俣	池田町檜俣	162.12	優れた天然林が相当部分を占める森林の区域	ブナ - ウスギウラク - チシマザサ群落 モミジカラマツ (西限種) シロウマイノデ (西限種) シマイヌワラビ (北東限種)

(動植物)

県では、県内の動植物、地形・地質、景観などの自然環境を総合的に把握するため、昭和54年度から「みどりのデータバンク」の整備を進め、昭和60年9月以降「報告書」等の形でとりまとめて配布しています。これらの情報は、インターネットを利用して「みどりのデータバンクホームページ」で広く一般に提供しています。

【本県を北(東)限および南(西)限とする植物】

嶺北地区を南(西)とする植物	嶺南地区を北東限とする植物
オクノコウリンウメモドキ(勝山市)	ヤマモモ(敦賀市)
アオモリトドマツ(")	ヒメユズリハ(")
イワイチョウ(")	クロバイ(")
アオジクスノキ(")	カナクキノキ(")
タテヤマオウギ(大野市)	ヤマイバラ(三方町)
ミヤマネズ(")	アリドオシ(")
ウダイカンバ(")	オオバヤドリギ(")
オクショウジザクラ(和泉村)	カナメモチ(大飯町)
ハクサンシャクナゲ(")	クロガネモチ(")
トウゴクミツバツツジ(")	コショウノキ(")
タマアジサイ (丸岡町)	クマミズキ(名田庄村)
ミヤマカワラハンノキ(池田町)	ニシノヤマクワガタ(")
オオバツツジ (今立町)	(以上福井県1976)

(資料：ふるさと福井の自然 昭和63年3月)

【主な陸生ほ乳類の生息状況】

科名	種名	科名	種名	科名	種名
トガリネズミ	カワネズミ		ニホンモモンガ	アライグマ	アライグマ
	ジネズミ		ムササビ	イヌ	ホンドタヌキ
モグラ	ヒミズ	ヤマネ	ヤマネ		ホンドキツネ
	コウベモグラ		(天然記念物)		ノイヌ
キクガシラコウモリ	キクガシラコウモリ	ネズミ	スミスネズミ	イタチ	ニホンテン
	コキクガシラコウモリ		ハタネズミ		ニホンイタチ
ヒナコウモリ	モモジロコウモリ		カヤネズミ		チョウセンイタチ
	アブラコウモリ		アカネズミ		ホンドオコジョ
	ウサギコウモリ		ヒメネズミ		ニホンアナグマ
	テングコウモリ		ドブネズミ	ジャコウネコ	ハクビシン
	ユビナガコウモリ		クマネズミ	ネコ	ノネコ
オナガザル	ニホンザル		ハツカネズミ	イノシシ	イノシシ
ウサギ	ニホンノウサギ	ヌートリア	ヌートリア	シカ	ホンシュウジカ
リス	ニホンリス	クマ	ツキノワグマ	ウシ	ニホンカモシカ

*福井県に自然分布、または野外で繁殖している陸生ほ乳類(外来を含む)を掲載。ただし、過去30年間(1968-1997)に記録のない種(ヤチネズミ、ニホンオオカミ、ニホンカワウソ)を除く。(資料：福井の鳥とけものたち 平成9年3月)

【主な天然記念物および国内希少野生動植物種】

区分	種名	福井県の現状
特天、希	トキ	絶滅（明治初年頃までは生息していたと見られる）
特天、希	コウノトリ	絶滅（昭和40年代までは生息していたと見られる）
特天、希	タンチョウ	冬季に飛来する
特天、希	イヌワシ	減少している
天	コクガン	冬期少数飛来する
天	マガン	同上
天	ヒシクイ	同上
天、希	オジロワシ	冬期4～5羽が飛来する
天、希	オオワシ	冬期1～2羽が飛来する

（資料：福井の鳥とけものたち 平成9年3月）

（注） 天……天然記念物

特天……特別天然記念物

希……絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律で国内希少野生動植物に指定されたもの

【主な資料・報告書】

みどりのデータバンク総括報告書（1985年9月）

福井県の両生類・爬虫類・陸産及び淡水産貝類目録（1985年9月）

福井県昆虫目録（1985年9月）

福井県の両生類・爬虫類・陸産貝類目録（1998年3月）

福井県昆虫目録（1998年3月）

福井の鳥とけものたち（1997年3月）

福井県の陸水生物（1998年3月）

ふるさと福井の自然1～14号（1987～2000）

ふくいのはるの巨木（1992年3月）

ふるさと福井の自然100選（1996年3月）

福井県植物図鑑、福井の野草上・下（1998年3月）

福井の樹木（1999年3月）

福井県のすぐれた自然 動物編（1999年3月）

福井県のすぐれた自然 植物編（1999年3月）

福井県のすぐれた自然 地形・地質編（1999年3月）



【問合せ先】福井県福祉環境部自然保護課
0776-20-0305

5)ごみ減量化・リサイクルの取組み

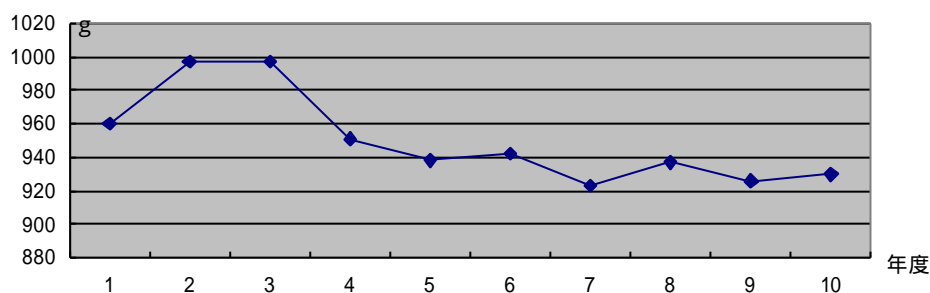
県民一人一日当たりのごみの排出量は、平成 3 年度をピークに減少傾向を示し、ここ数年は横ばい状態にあります。

リサイクル率（集団回収で集められた古紙等と市町村により収集されたごみを合算したもののうち、リサイクルにまわされた割合）は、増加傾向にあり、平成 8 年度のデータでは、本県は全国 8 位です。

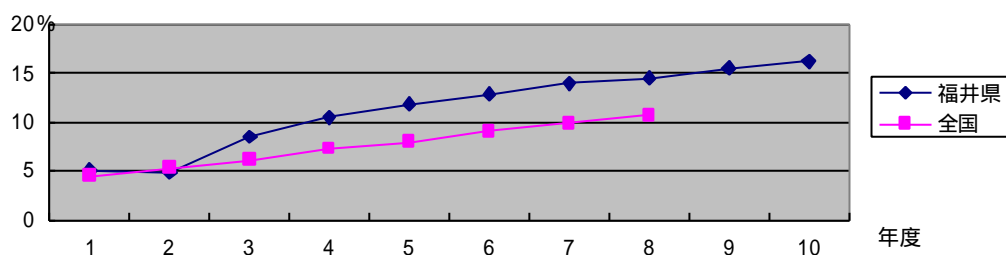
県では、平成 11 年 6 月に「福井県ごみ減量化・リサイクル日本一推進計画」を策定し、ごみ減量化、リサイクルを推進しています。

目標	ごみ排出量	平成 10 年度	930 g	平成 15 年度	753 g
	リサイクル率	平成 10 年度	16.3%	平成 15 年度	31.0%

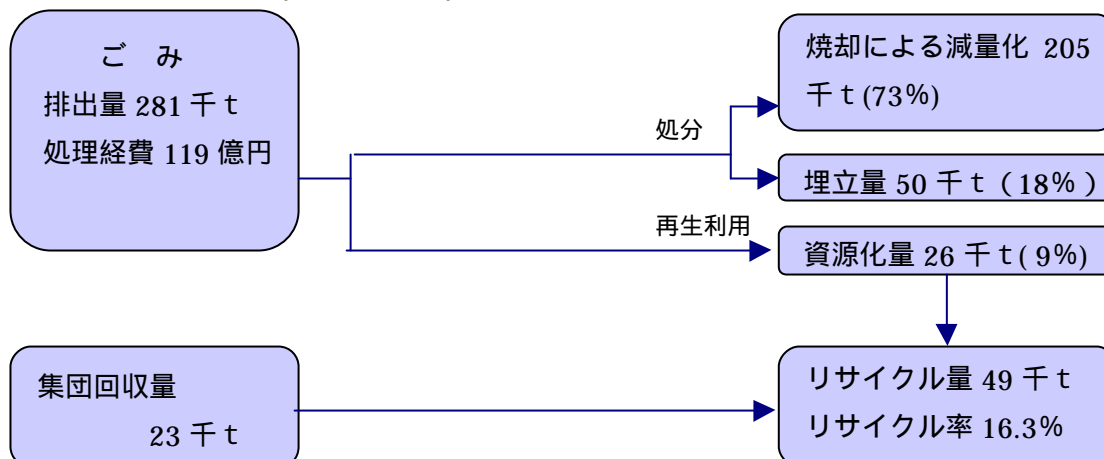
【県民 1 人 1 日当たりのごみ排出量の推移】



【リサイクル率の推移】



【県内のごみ処理状況（平成 9 年度）】



【県内市町村の分別収集区分】

平成12年4月1日現在

ステーション回収 拠点回収（公民館、店舗等） 持ち込み

市町村	可燃ごみ	不燃ごみ	資源ごみ																				有害ごみ							粗大ごみ	収集品目数								
			缶		びん							紙			プラスチック類								繊維類	油類	金属類	乾電池	蛍光灯	体温計・鏡	スプレー缶										
			分類なし	アルミ	無色	茶	青緑	黒・他	生きびん	紙パック	新聞紙	雑誌類	段ボール	その他容器	ペットボトル	食品	トレイ	白色	発泡スチロール	その他容器																			
福井市																																							10
敦賀市																																							13
武生市																																							14
小浜市																																						13	
大野市																																						15	
勝山市																																						13	
鯖江市																																						20	
美山町																																						9	
松岡町																																						13	
永平寺町																																						10	
上志比村																																						10	
和泉村																																						14	
三国町																																						11	
芦原町																																						10	
金津町																																						10	
丸岡町																																						10	
春江町																																						10	
坂井町																																						11	
今立町																																						13	
池田町																																						13	
南条町																																						12	
今庄町																																						12	
河野村																																						13	
朝日町																																						13	
宮崎村																																						13	
越前町																																						18	
越廼村																																						17	
織田町																																						12	
清水町																																						12	
三方町																																						9	
美浜町																																						11	
上中町																																						15	
名田庄村																																						11	
高浜町																																						12	
大飯町																																						7	
合計	35	35	29	6	6	2	31	31	27	31	3	8	8	8	8	0	33	6	5	1	10	2	5	3	2	31	11	9	8	8	35								

【問合せ先】福井県福祉環境部廃棄物対策課
0776-20-0317

6)環境データの入手方法

(環境白書)



県では、昭和47年から年に1回、各種環境監視結果をはじめ、環境保全対策の取組状況を環境白書として取りまとめています。

【問合せ先】福井県福祉環境部環境政策課
0776-20-0301

(みどりネット、環境情報総合処理システム)

福井県環境科学センターでは、環境に関するホームページ「みどりネット」を運用し、様々な環境情報を発信しています。 **HP** <http://www.erc.pref.fukui.jp/>

大気環境濃度(速報値)
みどりのデータバンク
イベント案内 など

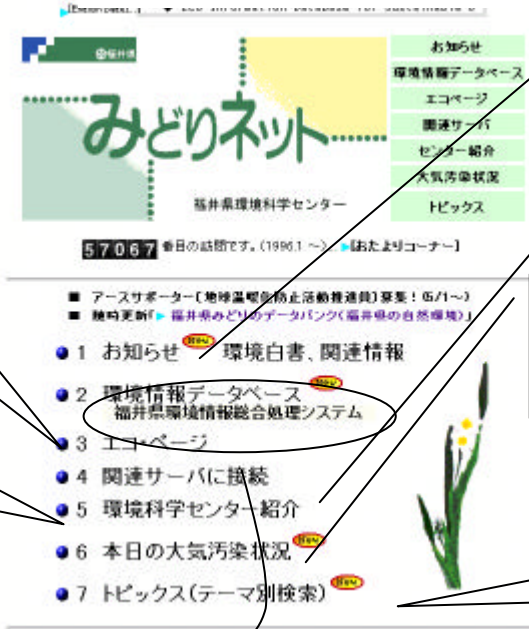
また、大気、水質等の環境状況をはじめ、自然環境、土地利用状況、文化財等の環境情報をデータベース化し、地図や表等によりビジュアルに表示する「環境情報総合処理システム」を整備し、この「みどりネット」から利用できます。

また、一部の情報はテレホンガイドシステムにより電話やFAXからも利用できます。(電話番号は0776-52-7122)

【問合せ先】福井県環境科学センター
0776-54-5630

**みどりネット・環境情報総合処理システム(環境情報データベース)
で提供している情報**

みどりネットトップページ
(http://www.erc.pref.fukui.jp/)



福井県内の環境に関する
行事・イベント・募集な
どの知らせがあります。

日本・世界の環境に関
するホームページへ
のリンク集です。

自然とのふれあいや
環境保全活動に関す
る情報のページです。

「みどりネット」を運用
している環境科学セン
ターについての紹介です。

《福井県大気汚染監視テレメ
ータシステム》による、県内大気汚
染状況の最新の測定結果です。

テーマ別に情報を
検索するためのペ
ージです。

2 環境情報データベース
環境情報総合処理システムで集積
された情報を見ることができます。

表形式データ検索
大気汚染常時監視調査や公共用水域水質常時監視
調査の年間集計結果、海水浴場の水質調査結果、酸
性雨調査結果などを調べることができます。



文書検索
福井県環境白書や環境科学センター年
報、福井県の環境に関する条例、その
他環境調査報告書などを検索するこ
とができます。

地図表示
福井県内の地形図や河川海岸現況図、土地利用計
画図、文化財・国定公園・鳥獣保護などの環境関連
地図を見ることができます。また、地図上に地点情
報を重ね合わせて表示することもできます。

